

UENO Yuta

WAKASA Seiichiro

ABE Shunsuke

ABE Hirotaka

SATO Kazu

Fujita Ippei

THE REGIONAL LEADERS.

JCI  **Yuzawa** TM

一般社団法人湯沢青年会議所

創立55周年 記念企画対談

**「この地域の未来を切り拓く
リーダーたちの想い」**

2023年6月10日 発行 創立55周年記念誌
JCI YUZAWA

各団体が思う湯沢雄勝地域の現状と課題

課題解決に向け目指すこと

各団体がチャレンジしたいこと

目 次

式典次第	1
JCI Creed・JCI Mission・JCI Vision	2
JC宣言文・綱領・東北JC宣言	3
設立趣意書	4
創立宣言文・入会承認証	5
理事長挨拶 第55代理事長 上野 佑太	6
ご祝辞	7
スローガン・シンボルマークのコンセプト	1 4
記念企画 湯沢青年会議所理事長×湯沢雄勝各青年団体代表対談 『この地域の未来を切り拓く、リーダーたちの想い』	1 5
前回50周年から過去5年間の歩み	2 1
湯沢青年会議所メンバー紹介	2 6
物故会員	3 0
創立55周年実行委員会 委員長 挨拶	3 1

創立55周年記念式典 次 第

1. 黙 禱
2. 開会宣言
3. 国歌斉唱
4. JCソング斉唱
5. JCI Creed唱和
6. JCI Mission並びにJCI Vision唱和
7. JC宣言文朗読並びに綱領唱和
8. 東北JC宣言文唱和
9. 理事長挨拶
10. 来賓祝辞
11. 来賓紹介
12. 来訪JC紹介
13. 祝電披露
14. スポンサーJCへの感謝状及び記念品授与
15. 中期ビジョン概要発表
16. 記念事業概要発表
17. 閉会宣言

The Creed of Junior Chamber International

We Believe

That faith in God gives meaning and purpose to human life ;
That the brotherhood of man transcends the sovereignty of nations ;
That economic justice can best be won by free men through free enterprise ;
That government should be of laws rather than of men ;
That earth's great treasure lies in human personality ;
and That service to humanity is the best work of life.

我々はかく信じる
真理は人生に意義と目的を与え
人類の同胞愛は国家による統治を超越し
公正な経済は我々の自由な経済活動によってこそ果たされ
政府には人治ではなく法治が必要であり
人間の個性はこの世の至宝であり
人類への奉仕が人生最大の使命である

JCI Mission

To provide leadership development opportunities
that empower young people to create positive change.

青年会議所は、青年が社会により良い変化をもたらすために
リーダーシップの開発と成長の機会を提供する。

JCI Vision

To be the foremost global network of young leaders.

青年会議所が、若きリーダーの国際的ネットワークを
先導する組織となる。

JC 宣言文

日本の青年会議所は
希望をもたらす変革の起点として
輝く個性が調和する未来を描き
社会の課題を解決することで
持続可能な地域を創ることを誓う

綱領

我々 JAYCEE は
社会的・国家的・国際的な責任を自覚し
志を同じうする者、相集い、力を合わせ
青年としての英知と勇氣と情熱をもって
明るい豊かな社会を築き上げよう

東北JC宣言

われわれは
新たな価値を創造する旗手として
尊い「結」の精神を呼び覚まし
かつてない未来を切り拓くことを誓う

◆設立趣意書

戦後の荒廃した国土の再建に、激しい使命感をもって立ち上がった各地青年会議所は、祖国の復興を成し遂げると共に、この間、常によりよき社会の建設を目指してお互いの友情を温め、指導者訓練を基調とした人格修練を通じて青年経営者としての訓練につとめ、勤労青少年問題をはじめ、社会、政治、経済諸問題を調査して正しい世論を喚起し、社会福祉の増進に奉仕して参ったのです。

幸いに日本経済は復興し、飛躍的發展を遂げて参りました。然し経済の發展は一面技術革新の進展・産業構造の変化を助長し、企業間格差、地域格差の増大、経済の跛行性を高めると共に、貿易の完全自由化を控えての設備投資の行き過ぎは、今日我が国経済にとって容易ならぬ事態を生ずるに至りました。又、我が国を取り巻く国際情勢も、東西の緊張は緩和されたとはいえ、中ソの対立、新たな南北問題等、その様相は複雑多様化し、之又決して樂觀を許さないものがあります。この際、湯沢の青年経営者諸兄が立ち上がり、自分たちの住んでいる地域社会を我々自身の力で明るい豊かな社会にせんがために、湯沢青年会議所を組織し、その使命を自覚し、決意を新たにして力強い活動を展開したいと思ひます。

現在我が国にとって近代福祉国家の建設は急務であると共に、容易ならぬ大事業であります。この先駆けとなり、その成否の鍵を握るものこそ私達青年であります。

青年は無限の可能性であり、その純粋な汚れなき英知、若々しさからほとばしる勇氣、高い理想を求めてやまない情熱こそ、明るい豊かな社会を築く原動力であります。

私達は今日の用意ならぬ時期において近代福祉国家建設という大目的の下に益々同志的結合を固くし、友情を温め、相互の信頼と切磋琢磨により、よりよき社会建設の為、指導者としての人格修練につとめ、正しい世界観を養い、社会の進歩發展に貢献せんことを期し、湯沢青年会議所を設立したいと考えます。

私達はまず湯沢の地域社会における正しい経済の發展を心から希望いたします。

私達は古い伝統に包まれた地域社会を尊重しながら、更には常に創造の精神を以て、新しい文化と経済の發展を求めてやまなかつた私達の先輩の偉業をついで、青年の情熱を傾け、勇氣を以て社会の良心となり、湯沢の地域社会の開発と経済の發展につとめ、引いては新しい日本の経済に貢献したいと思ひます。

平和な世界の実現は人類の心からの願いであります、現実には緊張と危機感が絶えません。

私達は明るい豊かな社会の建設が平和な世界の下に、はじめて可能であることに想いを致し、進んで各国青年との友情を深め、率直な意見の交換をはかり、以て私達青年の手によって真の平和な世界が建設されることを強く希望致します。

昭和44年5月26日
湯沢青年会議所 設立発起人代表 京野 榮一

◆創立宣言文

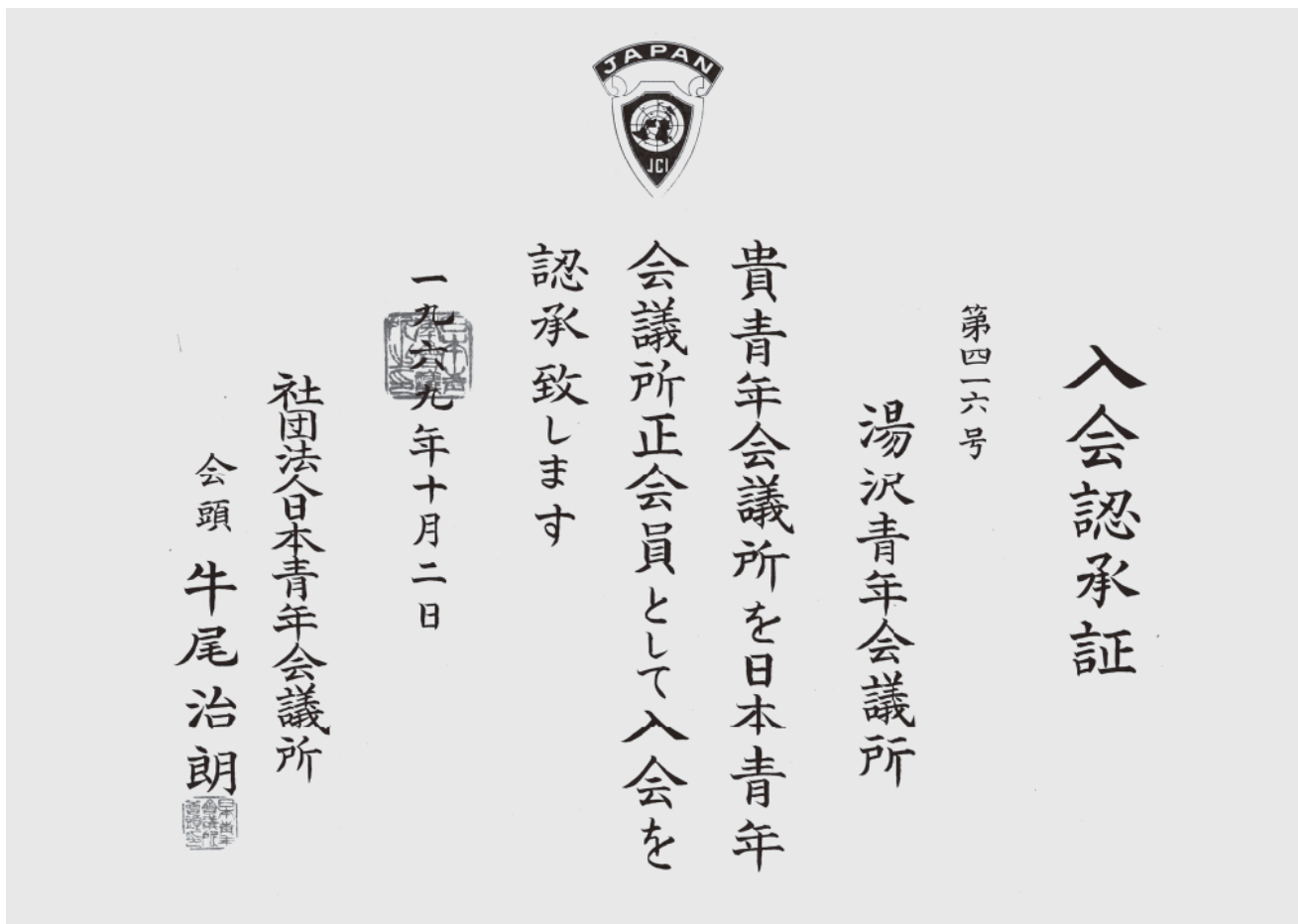
激動し続ける国際社会下にあって、我日本は驚異的経済成長をもって着々とその地歩を築きつつあるかに見えますが、一歩ひるがえって国内に目を転ずる時、内包される問題は洵に多いのであります。

特に我々の住むこの湯沢市を中心とした周辺地域の場合、その地理的条件を宿命的なものとして後進地の名に甘んじ、何ら見るべき施策もなく、都市化という流れの中にあって過疎地帯として置き去られようとしているのであります。この過疎化の解決なくして明日の地域社会の繁栄はないのであります。今こそ我々青年が、地域社会の問題解決のために立ち上がるべき時であると思います。

それには、我々が経済人としての一層の自己修練と友情、奉仕の精神を養い、人間形成に努力し、全県・全国全世界の青年と交流を深め、お互いに明日の理想を探求して前進しなければなりません。

ここに社会的、国家的見識を持ち、新時代の指導者理念の創造に努力するJC活動を、全面的に支持し、日本青年会議所加盟を目標として湯沢青年会議所の創立を宣言致します。

昭和44年8月10日
仮湯沢青年会議所



◆理事長挨拶



一般社団法人湯沢青年会議所
第55代理事長 上野 佑太

はじめに創立55周年を迎え、1969年に日本で416番目の青年会議所として、湯沢青年会議所が設立されてから55年もの長きに渡り行政、関係諸団体をはじめと致します地域の皆様、各地会員会議所の理事長をはじめと致します会員の皆様に多大なるご協力を頂いたことで当青年会議所が本日まで活動が続けられましたこと、厚く御礼を申し上げます。何より、55年間常に地域を想い、明るく豊かな地域をつくるために様々な課題と真摯に向き合い、多大なる貢献をされてきました諸先輩方に尊敬と感謝を申し上げます。

2018年に創立50周年という大きな節目を迎えてから5年間で世の中は大きく変化をしました。新型コロナウイルスの蔓延により、コミュニケーションの形が大きく変わり、SNSを中心に新しいコミュニケーションの形が多く生まれました。これまで様々な人と直接触れ合うことを強みとしてきた青年会議所活動においても多くの変化が求められ、青年会議所が新たな存在価値を見出すための挑戦の5年間であったと感じています。当然、困難なこともありましたが、その中でも新しいことへの挑戦を続けたことで、多くの失敗と成功を積み上げられたことは私たちにとって大きな財産となりました。

私たち青年はどのような時代であっても、地域の未来に希望を見出し、それを形にして地域へと提供していく使命があります。これまでの55年間においても諸先輩方が様々な時代の潮流を明確に捉え、課題の解決に向けた活動を行ってきたからこそ、今の地域があります。その想いを受け継ぎ、今後は私たちがこの先の未来をつくるため、今もこの先も挑戦を続けていく！その想いを創立55周年の記念式典・祝賀会のスローガンに込め、「Be a challenger! ～未来を切り拓く挑戦者であれ～」とさせて頂きました。

併せて、今年度のスローガンである「やってみよう！～正しいことより楽しいこと～」に込めたこの地域に住む全ての方にワクワクを提供し、誰もが未来に希望を持てる地域とするため、私たちは挑戦を続けて参ります。

最後になりましたが、今後も私たち青年会議所が地域の希望をつくり続けていくため、活動を行って参りますこととお誓い申し上げますと共に、皆々様からの変わらぬご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

◆ご祝辞



秋田県知事
佐竹 敬久

一般社団法人湯沢青年会議所が創立５５周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

湯沢青年会議所は、昭和４４年の創設以来、湯沢雄勝地域の「明るい豊かな社会」の実現を目指し、時代の変化や潮流を明確に捉えながら、空き家対策や地元高校生との交流活動など、地域に根ざした社会活動を積極的に推進しておられます。

歴代の理事長をはじめ、会員の皆様の地域課題に立ち向かおうとする高い意識と実行力に深く敬意を表しますとともに、活力ある地域づくりへの多大なる御貢献に対して、厚く御礼申し上げます。

さて、全国的に進む人口減少に加え、新型コロナウイルス感染症の流行やウクライナ情勢の長期化、それに端を発した世界規模での物価高騰など、企業経営を取り巻く環境は大きく変化してきております。

県では、最重要課題である人口減少問題を克服し、本県産業の持続的発展と魅力ある雇用の場の創出を図るため、社会ニーズを的確に捉え、成長が見込まれる産業分野への参入や新たな価値の創造に果敢に挑戦する企業を後押ししてまいります。

湯沢青年会議所の皆様には、創立５５周年スローガン「Be a Challenger！～未来を切り開く挑戦者であれ～」のもとに、青年ならではの自由な発想と大胆な行動力をもって変革の時代に立ち向かい、地域づくりの若き牽引役、そして地域活力の原動力として、御尽力くださるようお願い申し上げます。

結びに、湯沢青年会議所の更なる飛躍と、会員皆様の益々の御健勝、御活躍を祈念いたしまして、お祝いのことばといたします。



湯沢市長
佐藤 一夫

この度、一般社団法人湯沢青年会議所が、創立５５周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

会員の皆様におかれましては、１９６９年の創立以来、地域の商業・企業活動に関わる青年経済人として自己研鑽を積み、地域経済の活性化と発展のため、多大なる御貢献をいただいておりますことに深く敬意を表します。

さて、３年以上続いた新型コロナウイルス感染症ではありますが、法的位置づけも「５類」に移行され、コロナ禍前の日常を取り戻しつつあると感じております。

そのような中、本市では、「第２次湯沢市総合振興計画」の後期基本計画の２年目として、現下の厳しい社会経済情勢に的確かつ柔軟に対応し、市民生活の安全と安心を維持するため、少子化対策や子育て支援、脱炭素化の取り組みなどの各施策をより一層推進し、次代を見据えた持続可能なまちづくりに取り組んでまいります。

本市全体の活性化と発展のためには、会員の皆様の柔軟な発想や新しい視点での挑戦が必要不可欠であり、今後も積極的なリーダーシップを発揮され、活力ある地域社会の実現のため御協力いただきますようお願い申し上げます。

結びになりますが、湯沢青年会議所の更なる御発展と、会員皆様のますますの御活躍を祈念申し上げ、お祝いのことばとさせていただきます。

◆ご祝辞



羽後町長
安藤 豊

一般社団法人湯沢青年会議所が創立５５周年を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。

昭和４４年、本青年会議所が設立された当時は、高度経済成長期の中にあり、アポロ１１号の人類初の月面着陸や東名高速道路の全面開通など、飛躍の年でもありました。そうした状況の中、湯沢雄勝の若いリーダーが明るく豊かな地域を創るため、時代の変化に応じた様々な活動を展開し、圏域の経済発展や地域振興に大いに貢献していただいたことに、深く敬意を表する次第であります。

近年、人口減少、少子高齢化といった大きな課題を抱える中、社会情勢も目まぐるしく変化しております。また、令和２年に発生した新型コロナウイルス感染症は、私たちの生活に大変深刻な影響を及ぼしました。様々な活動が制限され、地域経済が危機的状況を迎える中、会員の皆様方におかれましては、これまで培った経験や地域の特性を活かし、持ち前の行動力により地域を応援していただいたことは、地域住民並びに事業者に元気を与えてくれたものと確信をしております。

今後も様々な課題に直面することがあるかと思いますが、会員の皆様方の若さと行動力で地域に新しい風を吹き込み、難局を乗り越えてくださるものと期待をしております。

結びに、２０２３年度のスローガンである「やってみよう ～正しいことより楽しいこと～」を実践し、今後も更に飛躍されることをお祈り申し上げ、創立５５周年にあたってのお祝いのことばといたします。



東成瀬村長
備前 博和

一般社団法人湯沢青年会議所が創立５５周年の佳節を迎えられますことに、衷心よりお喜び申し上げます。

湯沢青年会議所におかれましては、創設以来、「奉仕」「修練」「友情」の３つの信条のもと、地域社会、青少年の健全育成、文化、スポーツ振興など多彩な活動に取り組み、地域社会の発展に大きく貢献してこられました。上野理事長を始め、歴代の役員、会員の皆様方の御尽力に深甚なる敬意を表します。

人口減少時代を迎え、地方や地域が多様な課題を抱える中で発生した、新型コロナウイルスのパンデミックは、私たちの生活様式や働き方を大きく変えようとしており、アフターコロナは新たな価値を創造する時代を予感させます。そうした中、これまで若い力を受け継ぎ、常に新たな発想で地域と一体となり課題解決に熱心に取り組まれてこられた皆様の活動は一層輝きが増すものと思われまます。

湯沢青年会議所の皆様におかれましては、今後においても明るい豊かな社会の実現に向け、会員相互の結束を一層強固にされ、熱い情熱と斬新な発想で、地域の若い旗手として積極果敢な取り組みを御期待いたします。

結びに、一般社団法人湯沢青年会議所のますますの御発展と会員皆様の更なる御活躍と御健勝を祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

◆ご祝辞



湯沢商工会議所
会 頭
和 賀 幸 雄

一般社団法人 湯沢青年会議所におかれましては、このたび創立５５周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

湯沢青年会議所は、昭和４４年の創立以来「奉仕」「修練」「友情」を基本理念とし、「明るい豊かな社会」の実現を目指し、湯沢雄勝地域に住み暮らす人々や子ども達の笑顔のために意欲ある活動が続けてこられましたことに、敬意と感謝の意を表します。

さて、日本経済のみならず地域経済は、急速に進む少子高齢化や新型コロナウイルス感染症、エネルギー価格・物価高騰の影響により、過去に例を見ない厳しい状況が続いております。

このような時こそ、地域の持つ強みに磨きをかけ、地域の振興に全力をあげて取り組んでいかなければなりません。

この地域には、豊かな自然や魅力的な観光地、古き良き歴史・文化、伝統産業などの資源があり、そして何より温かい人間関係「絆」があります。

皆様には、地域の未来を担うリーダーとして、これら資源を活用し魅力ある地域の創造に若さ溢れる行動力を発揮されることを期待しております。

湯沢青年会議所のスローガンでもある「やってみよう！正しいより楽しいこと」の基、時代の変化や潮流を的確に捉え、次世代が希望と誇りを持てる地域の未来のため、我々湯沢商工会議所とともに活動を進めてまいりましょう。

結びに、湯沢青年会議所の今後のますますのご発展を心から祈念いたしますとともに、この５５周年が、新たな素晴らしい時代へと飛躍する大きな節目となりますことを期待いたします。



ゆざわ小町商工会
会 長
佐 藤 正 明

一般社団法人湯沢青年会議所創立５５周年を心よりお喜び申し上げます。

湯沢雄勝地域における経済の担い手である湯沢青年会議所の皆様方におかれましては、創立以来、青年経済人としての資質向上と相互交流、社会奉仕活動等を通じて、地域経済の健全な発展並びに豊かな地域社会の構築に努め、様々な分野において数多くの実績を上げてこられました。上野理事長はじめ、歴代会員の皆様のこれまでのご尽力に衷心より敬意を表します。

さて、これまでに経験したことがないコロナ禍を乗り越え、伝統行事等の地域イベント再開や、飲食・宿泊等観光関連産業をはじめとした好況は地域に賑わいと活力をもたらしております。一方、極端ともいえる景気回復は労働力や情報、資金といった経営資源不足を露呈し、好況の波に乗ることが困難な状況をもたらしております。

今こそ、皆さんの柔軟な発想を武器に、DXによる生産性向上に果敢に挑戦されることでこの困難を乗り越え、これからの地域経済の起爆剤となっていただくことを期待しております。組織は違えども、志を同じくする商工会青年部、商工会議所青年部とともに「共創」による地域づくりに邁進されることに期待を込めてエールを送ります。

結びに、貴会議所の益々のご発展、並びに持前の強力なネットワークを活用し、従来にも増して活発な活動を展開されることを祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。

◆ご祝辞



羽後町商工会
会 長
柴 田 知 之

一般社団法人湯沢青年会議所の創立５５周年、誠におめでとうございます。

貴青年会議所は、地域社会と国家の健全な発展を目指し、希望のもたらす変革の起点として貢献してきました。若い世代が輝く明るい未来を描き、社会の課題を解決することに挑戦する姿には、心より敬意を表します。

５５年前の高度成長期に会議所を設立され、後に豊かになった日本ではありますが、バブル崩壊、東日本大震災など、波乱の中での様々な活動実績は、会員の皆様の並々ならぬ汗と涙の賜物とお察しいたします。しかしながら、その活動こそが若い世代の地域愛を醸成し、地域のリーダーとしての資質を向上させたことは、想像に難くありません。

近年は、コロナ禍という未曾有の国難から、ようやく回復の光が見え始めてきましたが、経営環境は大きく変化しました。加速化する労働人口の減少、政情不安による物価高騰、頻発する自然災害等、これまでの経験則では判断できない状況も多くなりました。そのような中でこそ求められるものは、変化に対応し新しい価値観と発想を転換させながら、未来を切り開いて行く挑戦する熱い心であります。まさに、湯沢青年会議所の活動こそが求められるものであり、多くの若者たちが参加し地域社会に貢献するためのプラットフォームとして、その使命を果たし続けることを期待します。

今後ますますの発展と皆様のご活躍ご健勝を心から祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。



東成瀬村商工会
会 長
古 谷 秀 克

一般社団法人湯沢青年会議所創立５５周年、誠におめでとうございます。貴会議所は、地域の未来づくりを大切にされ５５年間歩み続けてこられました。この長い間、地域の未来を創造し、郷土を愛し、希望の持てる「まちづくり活動」を展開しておることに心より敬意を表します。

皆様方は、これまで明るく豊かな地域をつくるために、この地域が抱える大きな課題である人口減少、少子高齢化、めまぐるしく変化する社会情勢と向き合い、並々ならぬ会員の皆様の努力と先人たちの積み重ねで信頼と実績を築き、地域に貢献してきたことと確信しております。この努力も貴会議所の活動を通しての「仲間との出会い」、「絆」、そして「地域の方々の協力」があって乗り越えてきたものと思います。今後も若い方々の新たな価値観と発想、行動力で地域貢献に携わり、広域的な視点で未来を切り拓いていただきたいと思います。

歴代の理事長はじめ、これまで活動を支えられた会員各位の熱意と志に深く敬意を表し、一般社団法人湯沢青年会議所が今後ますます発展し、皆様方の更なるご活躍とご健勝を心から祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

◆ご祝辞



公益社団法人
日本青年会議所
会 頭
麻 生 将 豊

一般社団法人湯沢青年会議所の皆様、創立55周年、誠におめでとうございます55年という長きにわたり、地域に多くの運動を生み出してこられたことに対しまして、心より敬意を表します。

本年に入り新型コロナウイルス感染症も収束傾向となり、少しずつではありますが、日常を取り戻してきています。しかしながら、不安定な世界経済が引き起こす影響や、紛争による原材料価格の高騰などの影響は大きく、社業や家族との、明るい未来への夢を描くことが難しくなったと感じる大人も多いのではないのでしょうか。しかしながら、創立より青年経済人の想いを紡いでこられた貴青年会議所の皆さまにおかれましては、諸先輩方の熱き想いを継承し55周年という記念すべき年に、上野佑太理事長が掲げられる『やってみよう！～正しいより楽しいこと』というスローガンのもと、志を高く持ち、感謝の心を忘れず、明るい豊かな社会の実現を目指し邁進されることと存じます。

日本青年会議所といたしましても、「Drive our dreams～日本の魅力で世界を席巻しよう～」をスローガンに掲げ、全国各地で夢を描く仲間の事業をともに進め、日本の底力を世界へ発信してまいります。引き続き本会に対し、深いご理解、ご支援を賜るとともに、大いにご活用いただければ幸いです。結びに、貴青年会議所のさらなるご発展、並びに素晴らしい運動を展開されますこと、先輩諸氏、現役会員の皆様にとって実り多き一年となられますことを心よりご祈念申し上げます。



公益社団法人
日本青年会議所
東北地区協議会
会 長
高 橋 隆 太

一般社団法人湯沢青年会議所が創立55周年を迎えられますこと、心よりお喜び申し上げますとともに、これまで永きに亘り地域の発展にご尽力され、歴史を刻んでこられた先輩諸氏、並びに高い志を受け継ぎ強く運動を展開されている現役会員の皆様に深く敬意を表します。また、日頃より東北地区協議会の運動に対しまして、ご理解とご支援、ご協力を賜り、多くの出向者をご輩出いただいておりますことに心から御礼申し上げます。

さて、東北地区協議会では「LINK」をスローガンに「結いの精神でつながる魅力的で誰もが憧れる新東北の実現」を基本理念に掲げ、東北地区内全てのLOMを双方向でLINKさせ東北地区協議会だからこそできる運動、そして連絡調整機関として全てのLOM、ブロック協議会のサポートを展開してまいります。

貴青年会議所におかれましても、上野佑太理事長の強いリーダーシップのもと「やってみよう！～正しいより楽しいこと～」をスローガンに、「Be a Challenger! ～未来を切り拓く挑戦者であれ～」を周年スローガンに掲げられ、55年という長き歴史を振り返り、地域に対する熱き想いをもち行動を起こした創始の精神を忘れずに、組織をさらに盤石なものとされますことを確信しております。今後とも会員の皆様が一丸となり、湯沢雄勝地域から、東北、日本をリードする存在として、力強い歩みを続けられ飛躍されますことを心よりご期待申し上げます。

結びに、貴青年会議所が創立55周年を機に、これまで築き上げてこられた歴史を礎とし新たな素晴らしい歴史を築かれさらなるご発展を遂げられますことと、先輩諸氏並びに現役会員の皆様のご多幸とご健勝を心よりご祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

◆ご祝辞



公益社団法人
日本青年会議所
東北地区
秋田ブロック協議会
会 長
佐 藤 裕 之

一般社団法人湯沢青年会議所が創立55周年を迎えられましたこと心からお慶び申し上げます。創立以来55年の長きに渡り、歴代理事長をはじめ会員の皆様の熱き思いと行動力のもと、ふるさと発展のために多くの成果を上げてこられましたことに深く敬意と感謝を表します。貴青年会議所は1969年(昭和44年)に誕生し、運動を通じて次世代のリーダー育成に積極的に取り組み、数多くの人財を輩出するとともに、青年の柔軟な発想を活かした各種事業の開催により、地域経済の活性化に大きく貢献されてきました。また、ドイツ・ジークブルク市と友好都市であるつながりから、国際機会の一環として、海外出身者の方々のご協力のもと、様々な国の挨拶・文化・遊びをテーマとし子ども達が楽しく学び、海外の方々との交流を創出し湯沢雄勝地域の魅力発信に務められてきました。人が人と関わって価値を生み、青年会議所という組織を使って体现し、次世代に夢を以ってつないでいく姿は、私たちJAYCEEの誇りでございます。

2023年度、上野理事長が掲げる「やってみよう！～正しいより楽しいこと～」のスローガンのもと、高い志と信念を持って共感される運動の展開は、社会からの信頼と不可欠な存在としての認識を深め、市民の皆様との強固な共生関係を構築し、湯沢の未来へつながることと確信しております。

一般社団法人湯沢青年会議所が創立55周年を契機として、新時代を切り拓いていく責任世代としての一步を踏み出し、新たな飛躍に向けより一層のご発展を遂げられますことと、会員の皆様には時節柄健康にご留意の上、さらなるご活躍をご祈念申し上げ、お祝いの言葉いたします。



一般社団法人
秋田青年会議所
理事長
須 崎 晃 徳

一般社団法人湯沢青年会議所が今年度創立55周年を迎えられました事に対し、心よりお祝いとお慶びを申し上げます。また、1969年の創立より本年まで脈々と歴史を紡いでこられました先輩諸兄氏の皆様、そして愛する地域のため、次代を担う世代に対し、常に全力で明るい豊かな社会実現に向けて多くの事業を展開されております現役会員の皆様には、心より敬意を表します。

貴青年会議所は本年、上野佑太理事長の強力なリーダーシップのもと、「やってみよう！～正しいことより楽しいこと～」をスローガンに掲げ、これまでの歴史を紡ぎながらも、青年経済人としての「行動力」を示され、小さな一歩がいずれ大きなムーブメントを呼び起こすきっかけとなることだと感じております。人の心を動かすタネを集め、次代へ繋ぎ、そして関係する全ての方との絆をより強固なものとし、更なる地域発展に繋がることと確信しております。当青年会議所もスポンサーLOMとして明るい豊かな社会の実現という壮大な夢と希望を皆様と語り合い、共に切磋琢磨し絆を深め、行動できることを誇りに感じます。

結びとなりますが、一般社団法人湯沢青年会議所の皆様が創立55周年を機に、更なる飛躍の年となりますこと、そして湯沢の地が益々のご発展をされることを心より祈念申し上げ、祝辞と致します。

◆ご祝辞



湯沢青年会議所
シニアクラブ
会 長
阿 部 和 夫

一般社団法人湯沢青年会議所の創立55周年を心よりお慶び申し上げます。OB会からシニアクラブと名称は変更致しましたが、7年前より4代目の会長を務めさせていただいており、現在の会員数は210名で90代の方が4名おられ、70代が73名と主流で平均年齢が約66歳です。

私は昭和55年29歳で仮会員として入会し、無事例会等出席70%以上をクリアし、30歳で正会員となりました。当時は会員数が仮会員だけで16名で、120名近くの会員で、各月の例会はもとより、事務局以外の、十数名で構成された9委員会運営が活発に行われました。また、公民館での理事会終了後は、毎回ノミネーションを徹底してやりました。勿論、財政的にも余裕が有り、食事付きの例会を開催し、「地域おこし」「街づくり」事業を次々と展開して来ました。現在の現役会員には想像もつかない事だと思いますし、とにかく一言では説明が出来ない貴重な体験の数々です。

組織率も当時湯沢雄勝地域の人口が約9万人で、750人に1人が会員という、ある意味異常な数字だと思います。

今まさに湯沢・雄勝地域の時は流れても、55年前の創立時の問題意識は同じです。

シニアクラブとしても、現役会員が更なるステップアップが出来るように、様々な形で支えていきますので、「理想の社会づくり」にお互いに一歩でも進もうではありませんか。

◆スローガン・シンボルマークのコンセプト

一般社団法人湯沢青年会議所 創立55周年スローガン Be a Challenger! ～未来を切り拓く挑戦者であれ～

1969年に湯沢青年会議所が設立されてからこれまで、先輩諸氏は明るい豊かな社会を目指して地域の課題に向き合い運動を展開してきました。私たちはその歴史を受け継ぎ時代と共に変化し続け地域に明るい希望を提供することができるよう様々な運動を展開する使命があります。創立55周年という節目の年に、これまでの私たちの活動にご協力いただいた多くの皆様に感謝を伝えると共に未来に向けた私たちの決意を伝える機会とします。

創立55周年スローガンは変革の渦に果敢に飛び込む勇敢な組織を目指すという想いが込められています。私たち青年が地域に貢献するための最大の武器である行動力を一人ひとりが存分に発揮し、明るい未来を切り拓く舵取りの役割を担います。このスローガンを掲げ、次代に向けた一歩を踏み出し地域に希望の光を創ります。

一般社団法人湯沢青年会議所 創立55周年シンボルマーク



創立55周年シンボルマークは、晴れて創立55周年を迎えることができたことへの感謝と、これからも歩みを止めず次代に明るい未来を築き上げる様を表しています。

背景にある3本線は湯沢市、羽後町、東成瀬村3市町村の軌跡と明るい未来への道を表し、これまでの歴史を原動力に共に明るい未来を創造します。

Current Status and Issues

各団体が思う湯沢雄勝地域の現状と課題

私は生まれが東京で大学の進学から北海道で生活し、秋田県湯沢市に移住をしてきました。移住をして率直にすごいなと感じたことは同年代や年下の子たちが地域について話すことが身近にあるということ。J.Cに入会していればそのような会話も普通にあると思います。J.Cに入会していなくても、そのような会話を耳にすることがあり、地域のイベントなどに積極的に参加する若い人が多いなと感じています。一方で意欲が高い人が多いにも関わらず、その意欲が結果に繋がっていないことにもどこかしさを感じます。新しいことや尖ったことをやろうとすると批判や失敗は必ずついてきます。結果としてやらないとか、規模を縮小して実施することも多く、勿体ないと思います。失敗や批判を恐れずにやりきる人が多くなつて欲しいし、そういう人がまだまだ少ないことがこの地域の課題の1つだと考えています。

湯沢青年会議所
上野 佑太 理事長



湯沢商工会議所青年部
若狭 誠一朗 会長

商工会議所は経済団体ですので、その目線で考えると関係人口や交流人口が少ないことが他の地域に比べて弱いと感じます。地元の人たちは湯沢は何もないと思っているかもしれないですが、他の地域の人からすると湯沢は魅力的なものが沢山あります。そこに気づけていないところが現在の課題だと考えます。

羽後町商工会青年部
阿部 寛賢 部長



4月末に総会があり、現在東成瀬村商工会青年部の人数は4人です。で団体としてイベントの企画や実行は難しいと考えておりました。ではその状況でどのように活動しようと考えたときに、現在東成瀬村では地域おこし協力隊に力を入れており、地域おこしで来られた方々がそのまま残り会社を企業して、50名ほど採用しておりますので、その人たちを巻き込んでいければと考えております。

東成瀬村商工会青年部
佐藤 和 部長



ゆざわ小町商工会青年部
阿部 俊介 部長

稲庭うどんを始め川連漆器、温泉などの地場産業や観光資源がたくさんあります。農業的にも米や三梨牛など誇れるものが多いです。しかしそれらを外に発信する、アピールする部分がまだまだ足りてないと感じますね。関係人口を増やすために、如何にして発信・PRするかということが課題だと感じます。

湯沢ストリート村
藤田 一平 代表



地域の課題という部分で思ったのが高齢化に伴う人口減少という大きなスケールの話になるのですがそれに関しては自分一人では何もできません。そこで身近な生活圏に落とし込んで課題を考えると若者が楽しむ場所や交流する場所が無いということが課題だと思っています。例えばこの辺の高校生が卒業して地元企業に就職したと仮定すると恐らく生活パターンが家と職場の往復+週末だけ飲みに行く、みたいなワンパターンが想定されます。それだと若者にとって魅力的な地域ではないのでそこが課題だなと感じています。

皆さん凄いい意見ですね(笑)ハードルが高いです(笑)羽後町目線でお話すると昨年、西馬音内盆踊りがユネスコ文化遺産に登録されました。今年から通常再開予定で外国人観光客も増えてくると思いますが、それに対応したお店や企業が少ないことが現在進行形での課題点だと思っています。そこに我々商工会青年部が何かしらの協力体制を構築できればと思っています。もう一つ課題があつて商店街の人たちの後継者不足が挙げられており、商工会としても大きな課題です。羽後町は若手経営者やリーダーたちが集まるものが商工会青年部しかないのて凄く仲が良いです。だからもっと自分たちの楽しさや魅力をアピールして上手く色んなところと繋がってほしいと思います。



Problemsolving

課題解決に向けて目指すこと

ファシリ古関 素晴らしい視点ですね。藤田代表とは町内が一緒で年も1つ違いです。子供のところから知っておりますが、このような素晴らしい考えをもった大人になり、この場で対談しているこの状況はかなり感慨深いですね（笑）。

ファシリ古関 次のテーマは実際に課題解決に向けて目指すことです。

現状活動している中で見えている課題や先ほど挙げられた課題に対してどのように進めていくのかお話しいただきたいと存じます。



ファシリテーター
湯沢青年会議所 第53代理事長
古関 雄大



佐藤部長 人がいない、部員がいないということはどうしようもないことで、考えずに行こうかと。じゃあまずどうしようかと考えた時、今まで先輩方が続けてきたイベントや祭りを難儀してダラダラ続けていくのは果たして良いのかと思いました。商工会って何のためにあるのかというと、自分たちのためですよ。なので勉強会を開いたり企業訪問をしたり、祭りやイベントに限らず自分たちのためになることをしようかと思っています。

ファシリ古関 確かに自分たちの成長の場でもありますので自分たちのためという考えも良いですね。

ファシリ古関 そのスローガンいいですね。青年会議所も会員減少が課題となっております。その団体に魅力的な人財が沢山いれば拡大活動をしなくても自然と入会希望者がくるとおもいますが、現状そのような人はいないということはJICもまだまだ魅力的な人財少ないことが課題ですかね、上野理事長（笑）

上野理事長 その通りです（笑）

阿部（寛）部長 青年部も33人いるんですけど若い世代の20代、30代前半が少なくなっております。なので私の商工会青年部の今年度のスローガンが「元気に働き、元気に遊ぶ」として単純にその通りで凄く元気に頑張っていて凄く元気に遊んでたら、ちよつとは魅力を感じてくれる人がいるんじゃないかなと思うので、そうやってアピールして巻き込んでいきたいです。先ほどの藤田代表が挙げた課題もまさに羽後町もそんな課題があると感じましたし、この対談自体が課題解決に向けて話し合う良い機会だかなと思いますね。

若狭会長 皆さん凄く熱いトークなのでヒートアップしてきましたね（笑） 最初話した通りこの地域で自分で会社をやっているのを発展させていけば求人しても人が来るんですよ。でもその知識がなかったり、頑張っている姿を見せる勇氣というか1歩踏み出せない人が多いですね。そのためには勉強したり、他の地域を回ったりしていかないとダメかな。企業が発展しないと地域も発展しないと思います。任期も2年だけなのでいろいろ考えながらツーリズム感を持つて外部視点で自分たちがやるということをしていきたいなと思っています。

ファシリ古関 2年任期の先を見据えて活動されているんですね。自分の時だけではなくその先を考えることも大事なことですよね。



阿部（俊）部長 ゆざわ小町商工会青年部は基本的に地場産業をアピールしているのでも小学生中学生を巻き込みたいというのが1番念頭にあって、担い手不足を補うために動こうとしているんですけど、小学生中学生が地場産業の仕事について何をやっているかわからないみたいなので職業体験をさせてみたいしたいなと思っています。そうすることで10年後でも帰ってきて職業に就いたときに、そういえばあの時こんなやつだったかなと言う風に思い出してもらえればと。様々なコンテンツを小中学生向けに行うことで最終的に湯沢のことを忘れないでくれればよいと思っています。

ファシリ古関 小中学生に対してのアプローチはとても良い手法だと思います。是非10年後その子たちが戻ってきて地域のリリーダーになってほしいですね。

上野理事長 私達は少し特殊というか、JIC活動の基本は人づくりです。活動の目的が若い人に成長と発展の機会を提供するとなっているようにリリーダーシップの開発を行っていくことが求められており、私達はその部分に特化していくべきであると考えています。先ほどお話をしたように失敗や批判をはねのけて地域を牽引できる強いリリーダーを育てていくことが、今やるべきことであると考えています。そうなる、現在は35、40歳が会の中心なので、できればもう少し若い世代が中心となる組織を作っていくことが理想です。さらに地域の10代の方々の成長や発展にも目を向けていきたいです。

ファシリ古関 その通りですね。私たちJICは単年度制となっており、1年ごとに違う役職を担うことで毎年成長の機会が得られます。まちづくりや青少年育成のための事業も行いますが人財育成の面では他の団体と違うところですしそれに特化するのにも良いかもしれません。



Challenge

各団体がチャレンジしたいこと

藤田代表 1つ目が10周年のイベント開催があります。イベントのやり方を後世に継承したいです。2つ目はストリート村として住所が欲しいです。『ストリート村って何処にあるの?』とよく聞かれるので、明確に住所を言えるようにしたいです。

佐藤部長 色々と交流がしたいです。それが何につながるのかはまだ分かりませんが、ただ単に湯沢市や羽後町の皆さんと交流をして色々な話を聞いてみたいです。そこで大変なんだと思うこともあるかもしれませんが、まずはやってみようと思います。そこで繋がりができるとも思いますしそれを続けていきたいです。

阿部(寛)部長 チャレンジしたいと思う人がどんどん出てきてほしいです。私は15年間商工会に在籍しており、そのうちの8年間副部長をやっております。その活動の中で部長にお願いして色々なことにチャレンジさせていただきましたし、私自身燃え尽き症候群になったこともあります。

今後はそのようにチャレンジできる人がたくさん出てきてくれたらうれしいですし、その場面を作ることが今の私のチャレンジでもあると思っています。

阿部(俊)部長 コロナで活動できなかった時に、失われた3年間といわれましたが、事業をやるうえで必ず何かを得たはずですし、3年で世の中がこんなに変わること考えると1年間で何かを変えられるとも言えるので、まずは1年単位で何かをやっていきたいです。そして先輩方がやってきたことをぶち壊して、ただ失くすのではなく新たに派生させて何かをやっていきたいと考えます。

若狭会長 まずは皆さんが楽しく稼げるようにしていかないとけないと思います。最近私も40歳を過ぎて新しいことが分からなくなってきたと感じております。今までやってきたことだけではなく、新しいことを取り入れてやっていくことが大事だと思います。

皆さんはLINEやFacebookを活用していると思いますが高校生や大学生はもう使っていない。その時点で遅れていると思いますし私たちはもつと新しいことや楽しいことを取り入れて経済が活性化するようなことをやらないといけないと思います。

上野理事長 青年会議所は人づくり団体でありたいとお話をしましたが、入会をしないと成長ができない仕組みには違和感を覚えます。私達と絡むことで会員以外にも成長を促せる仕組み作りをしていきたいです。

地域の学生のために成長の機会をつくることはありますが、単発で終わってしまうことが多く、思い出作りになってしまいうことも多いです。やはり何度も継続して実施することが大切で、その中で私達から伝えることもあるし、逆に学生から教わることも多くあります。お互いに協力をすることでお互いが成長できると考えています。若い子たちの視点に私たち世代の視点も合わせればお互いに視野を広げることができると考えるところのような機会は多くあると良いなと考えています。

また、本日このような機会を頂いたので、このコミュニティをうまく使える人であり、組織でありたいと思いました。湯沢市、羽後町、東成瀬村の3市町村がお互いの強みを共有し、連携してこの地域全体を盛り上げていきたいと考えています。

◆前回50周年から、過去5年間の歩み

～2018年 第50代理事長 菅 洋介～

つくるのは希望

～明るい豊かな未来は自分でつくる～



～湯沢青年会議所 創立50周年記念事業～



◆前回50周年から、過去5年間の歩み

～2019年 第51代理事長 栗山 晃昇～

諸法無我

共に歩み共に進む



～大塚賞受賞事業 国際交流委員会～



◆前回50周年から、過去5年間の歩み

～2020年 第52代理事長 高橋 隆太～

UNISON

～想いを一つに行動しよう～



～優秀賞受賞事業 地域活性化委員会～



◆前回50周年から、過去5年間の歩み

～2021年 第53代理事長 古関 雄大～

限界突破



～大塚賞受賞事業 青少年育成委員会～



◆前回50周年から、過去5年間の歩み

～2022年 第54代理事長 伊藤 元貴～



～愛と元気があれば何でもできる～



～10月定例会 きぼう創造委員会～



◆湯沢青年会議所メンバー紹介

～三役～

表記
①役職・名前
②職業
③5年後に向けて、
チャレンジしたいこと



①理事長 上野 佑太
②(株)高瀬電設
③家族、社員がとにかく笑えれば



①直前理事長 伊藤 元貴
②センシン保険事務所
③子どもを授かり、円満家庭!



①顧問 高橋 隆太
②(株)高田屋
③新たな事業への挑戦



①副理事長 久間田 稔
②柳屋精肉店
③隣接異業種着手と、結婚!



①副理事長 工藤 光士郎
②光栄電機(有)
③家族を増やす



①専務理事 大日向 巧伍
②大日向電機(株)
③体重5キロ増量



◆湯沢青年会議所メンバー紹介

～監事・事務局・総務～



- ①監事 高橋 雄輝
- ②(有)レンタカーこまち
- ③新事務所設立



- ①監事 古関 雄大
- ②(株)コセキ
- ③体脂肪率15%切り



- ①監事 氏家 弘幸
- ②エレシア(株)
- ③肝臓のトレーニング



- ①事務局長 遠藤 宗彦
- ②(株)Shu
- ③自由に暮らす



- ①事務局次長 佐藤 達也
- ②(有)ビルドワークス
- ③色男♡



- ①総務委員長 高橋 史知
- ②(資)高順商店
- ③燃料業界最強！



- ①総務副委員長 高橋 尚之
- ②(株)高義商会
- ③明るい豊かな家庭を築くため、婚活を頑張る



◆湯沢青年会議所メンバー紹介

～未来創造委員会～



- ①委員長 和賀 一晟
- ②(株)和賀組
- ③体重を70kg以下にする



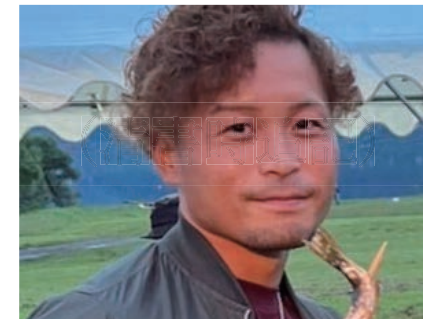
- ①プロジェクトリーダー 沼倉 佑亮
- ②(有)ぬまくら
- ③異分野事業を創業し、他分野進出。事業を通じて海外進出！



- ①プロジェクトリーダー 半田 晋
- ②(株)FIELDFACT
- ③時代を創る



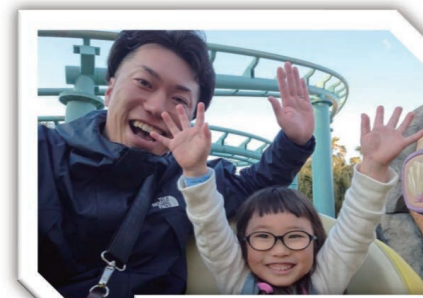
- ①メンバー 奥山 和宣
- ②(株)CRAS
- ③輸出による海外進出



- ①メンバー 平山 翔太
- ②平山建装
- ③とにかく仕事を頑張る！



- ①メンバー 高橋 大輔
- ②Cafe Lounge17
- ③今変える時、変えていこう



◆湯沢青年会議所メンバー紹介

～まちづくり委員会～

表記
①役職・名前
②職業
③5年後に向けて、
チャレンジしたいこと



①委員長 佐藤 雅俊
②外ノ目漬物研究会
③祖母が営んでいた漬物屋で伝統を
極め、いぶりがっこ御殿を建てる！



①プロジェクトリーダー
葛西 英樹
②レストランびいどろ
③加工食品の製造・販売にチャレ
ンジして、湯沢市から全国へ！



①メンバー 藤谷 良徳
②(株)協同企画
③秋田マstars陸上
100m記録樹立



①メンバー 柴田 将太郎
②(株)山脇組
③肉体改造（建設業勤務
なのに貧弱なので）



①メンバー 加賀屋 晃太
②(株)秋田放送
③仕事も家庭も趣味も
全力！



◆物故会員

物故会員名簿
(令和5年4月まで通知があった方々)

(敬称略)

氏 名	生年月日	氏 名	生年月日
富 谷 文一郎	S9.11.4	小 原 剛	S36.4.6
佐 藤 英 造	S13.10.23	奥 山 利 八	S8.4.7
伊 藤 章一郎	S11.5.3	武 石 孝 次	S13.1.15
佐 藤 義 一	S12.1.23	伊 藤 修 吉	S13.4.14
本 田 富士夫	S14.1.20	摂 津 裕 介	S20.10.28
伊 藤 裕 一	S34.3.6	二 坂 信 邦	S22.4.10
山 脇 平 治	S7.6.29	菊 谷 護	S24.1.23
富 谷 徐 吉	S13.5.19	阿 部 健 一	S6.2.3
下 田 英 雄	S9.11.24	堀 川 俊 雄	S12.4.19
下 橋 浩 一	S35.7.16	佐々木 賢 明	S16.9.30
高 橋 一	S15.3.9	斉 藤 正 志	S21.2.20
池 田 俊 六	S17.1.1	永 井 邦 右	S13.6.7
堀 江 章	S17.4.2	小 玉 征	S17.2.26
阿 部 司	S33.6.4	佐々木 功	S28.7.6
鈴 木 由 充	S43.11.29	工 藤 修 一	S26.10.11
畑 山 幸 治	S23.4.12	南 幸 一	S22.4.4
安 達 正 明	S22.5.1	佐 藤 進	S25.11.28
金 子 宣 郎	S7.5.8	村 田 拓	S24.5.10
寺 尾 博 全	S11.12.24	鈴 木 又五郎	S5.11.3
谷 藤 紳	S36.6.6	和 賀 直 志	S8.7.1
小野寺 幸 男	S36.1.13	石 橋 健	S6.4.5
阿 部 一 久	S34.5.30	佐 藤 達	S8.3.3
斎 藤 順 益	S25.6.29	小野崎 幾之助	S12.2.6
黒 丸 正 弘	S20.10.9	柴 田 貞一郎	S14.1.11
藤 井 喜美男	S13.6.2	中 川 秀 悦	S20.3.6
加 納 一 雄	S24.11.26	飯 塚 哲 司	S23.3.12
高 橋 勝 雄	S19.12.3	高 久 和 彦	S32.8.30
仙 道 康 郎	S8.11.4	志 水 透	S11.9.7
八 田 勉	S5.6.2	川 井 寛	S24.2.9
山 内 隆 一	S23.3.8	千 葉 隆 三	S11.9.3
吉 田 勲	S19.11.3	京 野 榮 一	S5.8.15
柴 田 均	S28.6.28	菅 文 輔	S16.3.28
小田原 正 一	S23.1.23		
佐 藤 丈 夫	S38.3.29		
		6 6 名	

◆創立55周年実行委員会委員長 挨拶



一般社団法人湯沢青年会議所
工 藤 光 士 郎

本日は、一般社団法人湯沢青年会議所創立55周年記念式典ならびに祝賀会にご臨席を賜り、誠にありがとうございました。今日という記念すべき日を迎えられましたのもひとえに地域の皆様のお支えと先輩諸氏の絶え間ない運動の賜物であると感謝申し上げます。

創立55周年スローガン「Be a Challenger! ～未来を切り拓く挑戦者であれ～」を掲げ、先輩諸氏がこれまで紡がれてきた歴史を受け継ぎ、新たな半世紀に向かって果敢に行動し、よりよい未来を切り拓く覚悟でございます。今後とも変わらぬご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

記念誌を作成するにあたり、御祝辞をいただきました皆様、そして各地会員会議所理事長をはじめとする会員の皆様をはじめ、ご協力いただきました先輩諸氏、記念対談にご協力いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

これからも創立60周年に向けて会員一同邁進していく所存でありますので皆様方のご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

